

もちろん初参加も大歓迎です

第4回国語学習会があります

文学作品「やまなし」今年度2学期・現場の実践から
「学び合い」の意味・現実・展望が…広がる



とき 1月19日(金) 5:30~8:30

ところ 勤労福祉センター

共同学習者 元小学校教師 山川貫司先生

こんな悩みありませんか

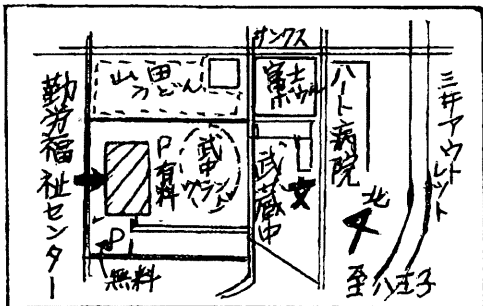
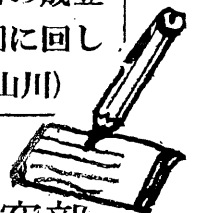
- ・ どうも授業がおもしろくない。
 - ・ 子どもの読みが浅いままだ。
 - ・ うまく進められない。
 - ・ 中身の読みはこれでよいのか。
 - ・ 短い時間数では内容がとらえきれない。
 - ・ 発表がつながらない・・・
-
- ・ 自分の考えの甘さや悩みの価値に気づけるかもしれません。
 - ・ 子供のすごさを再発見できると思います。
 - ・ 子どもと共に読むことの原点を探る。
 - ・ 現在の学びの問題点は何か、どこにあるのか・・・ **国語の物語教材**を取り掛かりとして、どんどん広がっていくのではないのでしょうか。

これまで学習会に連続して参加して下さっている先生が、初めての「やまなし」の授業参観(11月の半ばから12月の初め)を受容してくださりました。この場をお借りして先生をはじめ、ここに至るまでに諸連絡、配慮の労を執って下さったすべての方に心から感謝いたします。

全過程の授業の記録をとるなかで、私自身が学習指導上の諸課題を再考できたばかりか、作品「やまなし」についての新しい発見を先生と子どもたちから得ることができた得難い時間を過ごすことができました。

第4回目の学習会では、先生の貴重な記録を提示し、文学作品の学習指導上の悩みや課題を学び合えたら、と考えています。(論点は、現在整理中)是非ご参加くださいますようにー。

なお、前回予告の、「ひとり学習の成立から学び合いへ」については次々回に回したいと思います。・・・(飯能、山川)



主催 入間市教職員組合教育・文化研究部